

国連研究の課題と展望
 (『国連研究』第10号)

目次

序文	秋月弘子	7
I 特別寄稿 国連研究 50 年の回顧	香西 茂	11
II 特集テーマ「国連研究の課題と展望」		
1 国連研究の課題.....	横田洋三	27
2 多国間主義とグローバリズムの間で.....	星野俊也	55
——国連研究の展開と課題		
3 国連安全保障理事会の創造的展開とその正当性.....	佐藤哲夫	77
——憲章第7章の機能の多様な展開と立憲化 (constitutionalization) の視点をめぐって		
4 The United Nations Entrepreneurship in Global Public Policy	Tatsuro Kunugi	105
III 現場の眼		
5 国連開発システムの政治経済学	島田 剛	131
——ジャクソン報告から一貫性パネルまでの改革議論の変遷と 今後の改革の可能性		
IV 独立論文		
6 軍備管理・軍縮・不拡散交渉と国連システム	一政祐行	155
——核兵器をめぐる「持てるものと持たざるもの」の構造問題への 一考察		
7 国連システムにおける調達行政の意義と企業・NGO の役割	坂根 徹	175
8 国連平和維持要員の性的搾取・虐待に対する不寛容政策	金武真智子	195
——誰による不寛容が問題か		

V 研究ノート

- 9 国際連合の活動における SSR についての考察……………安藤友香 221

VI 書評と紹介

- 10 横田洋三・宮野洋一編著『グローバルガバナンスと国連の将来』
……………渡邊昭夫 241
- 11 大平剛『国連開発援助の変容と国際政治—UNDP の 40 年』
……………村田俊一 245
- 12 功刀達朗・野村彰男編著『社会的責任の時代—企業・市民社会・
国連のシナジー』……………笠原重久 249
- 13 ジェレミー・マタム・ファラール『国連制裁と法の支配』
……………吉村祥子 255
- 14 ロジャー・ノルマン、サラ・ザイディ『国連における人権—普遍的
正義の政治史』……………富田麻理 261
- 15 ブライアン・フレダーキング『米国と安全保障理事会—冷戦後の
集団安全保障』……………小森雅子 265
- 16 リース・モリエ・ハワード『国連PKOと内戦』……………井上実佳 271

VII 日本国際連合学会から

- 1 2008 年度 ACUNS 学会に参加して……………志村尚子 279
- 2 規約と役員名簿…………… 283

VIII 英文要約…………… 287

編集後記…………… 305

執筆者一覧 308